

Panasonic

DVD-Video プレーヤー

取扱説明書



品番

CX-DVP292D



MP3



保証書別添付

このたびは、パナソニック カーオーディオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。



特長



もくじ

手軽にDVDビデオやビデオCD、MP3ファイル再生が楽しめる

96 kHz/24 bitの高性能D/Aコンバータ搭載
CDより高音質での再生が可能です。

多彩なインタラクティブ再生や多言語表示などの機能

CD-R/RWディスク対応

「CD-R/RWディスクのご使用について」をよくお読みください。(P.30ページ)

MP3対応

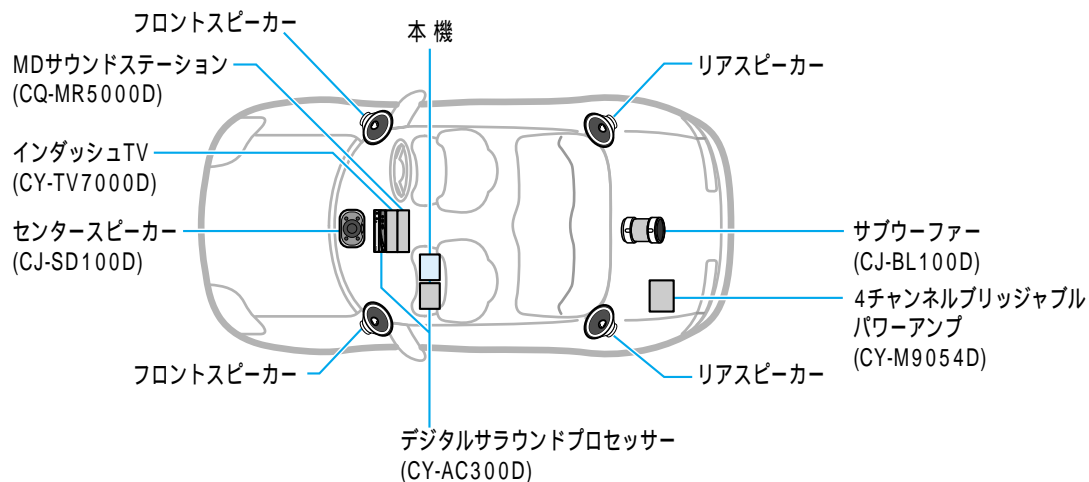
本機でMP3ファイルを再生できるメディアは、CD(音楽用のCD-ROM、CD-R、CD-RWディスク)です。
「MP3ファイル作成時の留意点」をよくお読みください。(P.28ページ)

システムアップ用端子を装備

ドルビーデジタル5.1ch、dtsサラウンドシステムにシステムアップできる光デジタル出力端子付きデジタルサラウンドプロセッサ、サブウーファーとセンタースピーカーを接続して、ドルビーデジタル5.1chとdtsの5.1chサラウンドが楽しめます。

ドルビーデジタル5.1chとdtsの5.1chサラウンドを楽しむには、別売のデジタルサラウンドプロセッサ(CY-AC300D)および光ファイバケーブル(CA-LRD60D/CA-LRD30D)が必要です。

システムアップ例



配線のしかたについては、42～45ページをお読みください。



特長……………2
安全にお使いいただくために……………4
使用上のお願い……………8



ディスクを再生する

□再生する……………15
□再生を止める(停止)……………15
□メニューが表示されたときは……………16
□頭出しする……………17
□早送り/早戻しする……………17
□繰り返し再生する(リピート)……………18
□番号の入力で選ぶ(ダイレクト選択)……………18



□メニュー言語の設定……………24
□字幕言語の設定……………24
□音声言語の設定……………24
□アスペクト比の設定……………24



MP3ファイル作成時の留意点……………28
ディスクの取り扱いについて……………30
お手入れのしかた……………31
故障かな!?……………32



配線・取り付けの前に……………39
取り付けかた……………40

付属品・添付品の確認と準備……………9
各部のなまえとはたらき……………10
再生できるディスクについて……………12

□一時停止(静止)する(ポーズ)……………19
□スロー再生する……………19
□DVDメニューを使う……………20
□タイトルメニューを使う……………20
□OSD(オンスクリーンディスプレイ)を表示する……………21
□字幕言語を切り替える……………22
□音声言語を切り替える……………22
□角度(アングル)を切り替える……………23
□音声(ステレオ/モノラル)を切り替える……………23

□映像サイズの設定……………26
□オンスクリーンメッセージの設定……………26
□音声出力レベルの設定……………26
□小音量で聞きやすい音にする……………26

用語解説……………37
言語番号表……………38
仕様……………46
アフターサービスについて……………裏表紙

配線のしかた……………42

使用前に

使いかた

各種設定

必要なときに

配線・取付



安全にお使いいただくために

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

運転者は走行中に操作をしない また、画像・表示を注視しない



禁止

走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。
必ず安全な場所に停車させてから操作してください。

取り付け・アース配線等に、 保安部品を絶対に使わない



禁止

保安部品(ステアリング・ブレーキ系統・タンクなど)のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。
説明に従い、付属品や指定の部品を使用してください。

DC 12 V ⊖アース車で使用する



本機はDC 12 V ⊖アース車専用です。DC 24 V車(大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など)には使用できません。火災や故障の原因になります。

配線・取り付け作業中は、 バッテリーの⊖端子を必ずはずす



バッテリーの⊖端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。



警告

故障や異常のまま使用しない



禁止

万一、故障(画像が映らない、音が出ないなど)や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・異臭がするなど)が起こった場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)にご相談ください。
そのまま使用を続けると、事故や火災・感電の原因になります。

必ず規定容量のヒューズを使用する また、交換は専門技術者に依頼する



規定容量を超えるヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に依頼してください。

コード類は、運転や乗り降りの 妨げにならないように引き回す



ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

指定に従って設置・配線する



説明に従って正しく設置・配線しないと、事故や火災の原因になります。

分解・修理、および改造をしない



分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

電池は乳幼児の手の届かないところ に保管する



事故の原因になります。
万一飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

車のパイプ類・タンク・電気配線 などの位置を確認して取り付ける



車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉や接触しないようにしてください。火災や事故の原因になります。

リモコンを放置しない



禁止

運転中に足下へ転がってブレーキペダルなどの下に入り込むと、運転を妨げて交通事故の原因になります。

MP3ファイル以外のファイルに、 拡張子「.MP3」を絶対に付けない



禁止

MP3ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出て、耳に障害を与えたり、スピーカーなどを破損する原因になります。

1 使用前に



⚠ 注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかり固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

本機の通風孔や放熱板をふさがない



内部に熱がこもり、発火や故障の原因になることがあります。

禁止

ディスク挿入口に手・指を入れない



手や指を挟まれるなど、けがの原因になることがあります。特に乳幼児にご注意ください。

禁止

シール・ラベル・テープなどを貼り付けたディスクは使用しない



本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RWは、使用しないでください。

禁止

水のかかる場所、湿気や埃の多い場所で使用しない



発煙・発火・感電・故障の原因になることがあります。特に洗車や雨のときなどに、水がかからないようにしてください。

禁止

適正な音量で使用する



車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は、事故の原因になることがあります。

機器内部に異物を入れない



内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電、故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

禁止

エンジンを止めた状態で長時間使用しない



バッテリー消耗などにより、エンジンがかからなくなることがあります。

禁止

特殊形状のディスクやディスクアクセサリは使用しない



ハート形や八角形などの特殊形状のディスクや、プロテクトフィルム・スタビライザーなどのディスクアクセサリを使用すると、故障の原因になります。

禁止

⚠ 注意

コードを破損しない



断線やショートにより、感電や火災の原因になることがあります。

車体やねじ・可動部(シートレールなど)への挟み込みで破損しないように引き回す。傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。

禁止

電池は正しく使う



破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因になることがあります。

指定の電池以外は使用しない。

⊕⊖を電池ケースの表示に合わせて入れる。

使いきった電池は、すぐに交換する。

リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。

充電・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。

電池を廃棄、または保管するときは絶縁する。(ビニール袋に入れる、テープなどを巻く)

著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。

(窓を開けきった車や車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど)

乳幼児の手の届くところに置かない。

万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

電池を廃棄する場合は

地方自治体の条例などに従って処理してください。

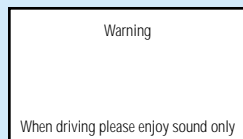


使用上のお願い

必ず、サイドブレーキコードを接続してご使用ください。(安全機能)

走行中は、DVDビデオ/ビデオCDの映像が表示されず、音声のみとなります。また、停車状態でもサイドブレーキを引かないと画像は表示されません。安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。

走行中は右図のようなメッセージが表示されます。
(走行中は、音声のみお楽しみください。)



他の機器と接続する場合は

各機器の取扱説明書も併せてよくお読みのうえ、正しくお使いください。

携帯電話を使用する場合は

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音を生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。

本機の取り扱いについて

車載用以外には使用しないでください。

車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、感電やけが・故障の原因になる場合があります。

結露について

寒いときヒーターをつけた場合などで、急に車内の温度が上がったとき、本機内部の光学系レンズやディスクに露(水滴)を生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、正常な動作をしない場合があります。

結露の状況にもよりますが、ディスクを取り出して乾いたところで約1時間ほど放置しておけば、結露が取り除かれ正常に動作します。ディスクに付いた露は、柔らかい布で拭いてください。

もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に相談してください。

免責事項について

火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

商品に添付の保証書は、当該製品を業務用の車両(バス・タクシー・商用車など)に使用した場合、適用対象にはなりません。



付属品・添付品の確認と準備

付属品

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

配線・取り付け用の部品は、39ページをご覧ください。



リモコン



パナソニック
リチウム電池
(CR2025)(1個)

添付品

取扱説明書(本書)

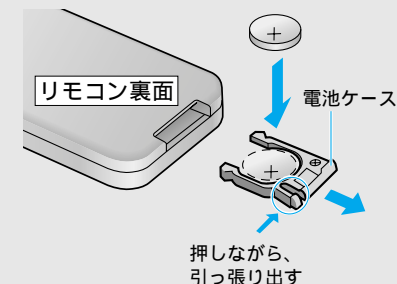
保証書

お客様ご相談窓口一覧表

ご使用前に

リモコンに電池を入れる

- 1 電池ケースを出して、電池をはめ込む
⊕⊖の向きを、電池ケースの表示に合わせてください。



- 2 電池ケースを入れる
奥まで押し込んでください。

電池について

使用電池
パナソニック リチウム電池(CR2025)

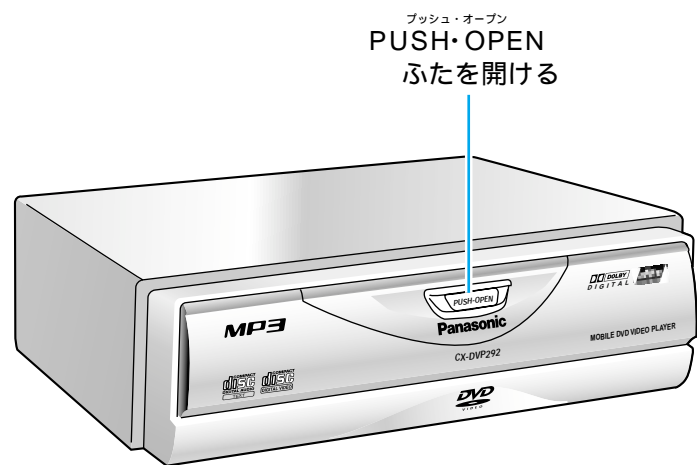
電池寿命
通常の使用状態(常温時)で約6ヶ月

取り扱いの注意書きをよくお読みください。(7ページ)

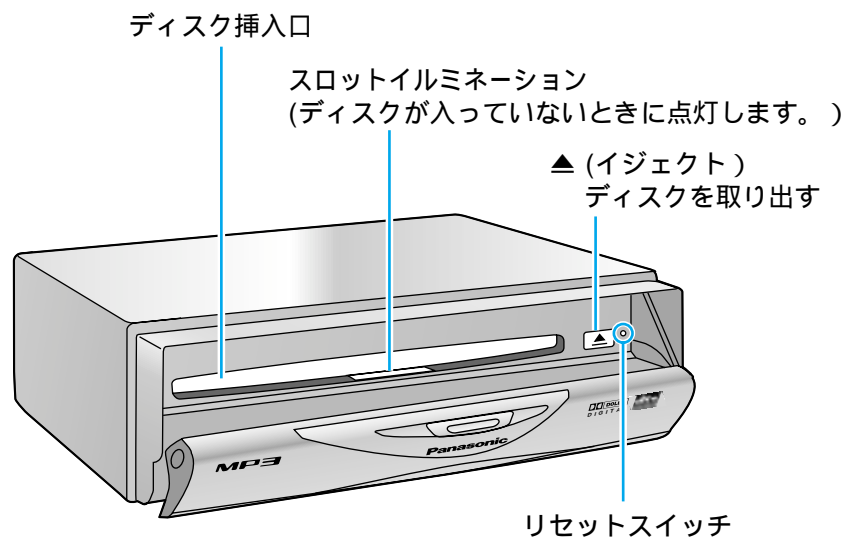


各部のなまえとはたらき

本体



ฝาを開けたとき



後面の端子については、
「配線のしかた」をご覧ください。
(42ページ)

リモコン

リモコン受光部 (付属 43ページ) へ向けて操作してください。
RGB対応モニターを接続した場合(42ページ)は、モニターの受光部に向けて操作してください。

■ (STOP) (ストップ) 再生を止める (停止)

|| (PAUSE) (ポーズ) 一時停止 (静止) する
コマ送り再生する

PWR (POWER) (パワー) 電源を入れる/切る

▶ (PLAY) (プレイ) ディスクを再生する

ENTER (中心を押す) フォルダを頭出しする (倒す)

ENTER (中心を押す) 項目を選ぶ (倒す)

ENTER (中心を押す) 決定する (ENTER) (押す)

1~9, 0 (10キー) 番号の入力で選ぶ
サブタイトル
1 (SUBTITLE) 字幕言語を切り替える
オーディオ
2 (AUDIO) 音声言語を切り替える
音声(ステレオ/モノラル)を切り替える
アングル
3 (ANGLE) 角度(アングル)を切り替える
リピート
6 (REPEAT) チャプター/トラック/ファイルを繰り返し再生する
0 各種設定を終了する

TRACK/SEARCH (トラック サーチ) チャプター/トラック/ファイルを頭出しする
チャプター/トラックを早送り/早戻しする
スロー再生する (▶|のみ)

RET (RETURN) (リターン) 番号を入力しなおす

MENU (TITLE) (メニュー タイトル) メニュー画面を表示させる
DVD/タイトルメニューを表示させる

OSD (オン スクリーン ディスプレイ) (On Screen Display) OSDを表示する

GRP (GROUP) (グループ) (トラック タイトル チャプター) (TRACK/TITLE/CHAPTER) ダイレクト選択モードにする



再生できるディスクについて

ディスク	マーク(ロゴ)	ディスクの大きさ	映像方式	音声方式	リージョン番号
DVDビデオ		12 cm	NTSC	LPCM、MPEG1、MPEG2、Dolby Digital	2 ALL
ビデオCD		8 cm		LPCM、MPEG1	
CD、CD TEXT					LPCM、MP3

お知らせ

CD-R/RWについては、「CD-R/RWディスクのご使用について」をよくお読みください。(☞30ページ)
MP3は、CDに書き込んだもののみ再生できます。「MP3ファイル作成時の留意点」をお読みください。(☞28ページ)
DVDビデオ/ビデオCDは、ディスク側の制約により本書の操作説明どおりに操作しないものがあります。ディスクのジャケットなどをお読みください。
dts CD、dts DVDを再生しても正常な音声を再生できません。(デジタル音声のみ出力されます)
DVDのカラオケ機能には対応しておりません。

本機で再生できないディスク

リージョン番号が「2」「ALL」以外のDVDビデオ
NTSC以外の方式(PAL、SECAM方式など)で記録されたディスク
DVDオーディオ DVD-ROM DVD-RAM DVD-R
DVD-RW DVD+RW CD-ROM (MP3を除く)
CD-RW (MP3、LPCMを除く) CD-R (MP3、LPCMを除く) CD-G
VSD CVD CDV SVCD SACD
フォトCD(再生すると、ディスクの内容が壊れる恐れがあります) Divx Videoディスク
CD-EXTRAなど

「ディスクの取り扱いについて」をよくお読みください。(☞30ページ)

特殊形状のディスクやディスクアクセサリは使用しない。
シール・ラベル・テープなどを貼り付けたディスク(特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RW)は使用しない。

DVDに記載されているマークについて

リージョン番号



DVDビデオには、発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割りあてられたリージョン番号があります。ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。

本機のリージョン番号は、「2」です。
ディスクに「2」(2を含むもの)または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。

字幕言語数 音声言語数 アングル数

数字は、記録されている数を示します。

記録されている音声の種類

ドルビーデジタル



本機では、2チャンネルの音声のみ楽しめます。別売のデジタルサラウンドプロセッサ(CY-AC300D)を接続すると、ドルビーデジタル5.1chの音声を楽しめます。(☞44~45ページ)

dts



本機では、別売のデジタルサラウンドプロセッサ(CY-AC300D)を接続すると、dtsの音声を楽しめます。(☞44~45ページ)

画面サイズ(横:縦の比)

4:3の標準サイズ レターボックス

16:9のワイドサイズ

モニターの画面サイズが標準(4:3)のときは、レターボックス(☞37ページ)で再生されます。

モニターの画面サイズが標準(4:3)のときは、パン&スキャン(☞37ページ)で再生されます。

モニターに映し出される映像のサイズは、本機の画面モード(アスペクト比 ☞24ページ)とディスク側の画面サイズによって異なります。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。本機は著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。